

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	すいっち				公表日	2026年 3月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制 運 備 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		・訪問先の教具教材を使用している。 ・必要に応じて子どもの特性に合わせた教具教材を準備する。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・希望者に対して十分な人数の職員を配置している。	
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・ミーティングをしっかりと行い、職員間の情報共有が細部まで出来ている。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・職員会議で情報共有し改善について話あっている。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・ミーティング等で、職員間の情報共有が細部まで出来ている。 ・訪問先と電話等で意見交換をしている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・実施を検討している。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・内部、外部研修を行っている。	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		・定期的な見直しをして計画を立てている。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・定期的なカンファレンスで職員の意見を取り入れて計画を立てている。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		・関係する機関と話し合った上で、計画を作成している。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・職員間で計画を共有し、計画に基づいて支援をしている。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・子どもの課題に対し職員全体でそれぞれの視点から行動観察をしてアセスメントを更新している。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・必要な支援に対し項目を明確にしてから計画を立てている。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・職員間で計画を共有し、計画に基づいて支援をしている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○		・訪問時間が早い場合、打ち合わせの時間を取るのが難しい場合がある。 ・前日に打ち合わせを行う等の工夫をする。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・毎朝のミーティングで前日の振り返りと気付いた点を話合っている。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		・訪問先を尊重した支援を行っている。	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		・毎回の支援の様子を詳細に記録にとり、保護者や職員間と共有して改善に努めている。		

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期的な見直しとともに、課題に応じて見直しをしている。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者が出席している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・学校訪問や事業所訪問を積極的に行って双方の情報共有を行っている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・全員が就学後に利用を開始している。 ・必要に応じて情報の共有をする。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・内部、外部研修を行っている。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		○	・機会があれば積極的に参加する。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・連絡帳や対面にて双方に状況をつたえあっている。	
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	・定期的に面談を行い、抱えている問題に応じて適切と思われる対応方法や情報をお伝えしている。	・専門知識のある外部講師を交え茶話会を企画する。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時や更新の際に都度行っている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		・都度説明を行っている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・保護者のみではなく利用者本人にも聞き取りを行い、通所意思や意向を聞き取りしている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		・都度同意を得ている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		・都度個別の相談に応じている。 ・父母や祖父母等の子育ての悩みに対する助言を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		・今年度は感染症の状況により開催できなかったが茶話会を実施する。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・都度迅速に対応している。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・HPやSNSにて発信している。 ・毎月のおたよりを作成し活動内容やお知らせの全体周知を行っている。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・留意し、情報は鍵付きの書庫に保管している。	
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・随時行っている。		
訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		・都度相談に応じている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		・訪問先や電話等で都度行っている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		・メッセージアプリ等で支援内容を共有している。	

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・留意し、情報は鍵付きの書庫に保管している。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		・随時行っている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・マニュアルを作成し職員はいつでも見れる所にある。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・安全講習の内部研修を行っている。 ・必要な職員には外部研修を受講させる。 ・毎月事業所内の安全点検を実施。 	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・会議やミーティングで都度話合っている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待委員会を発足し姉妹事業所と合同で委員会や研修を行い防止に努めている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・対象児童がいない。	・必要に応じて対応方法を考える。